

【児童への話】

6月7日の梅雨入りから、2週間が経ちました。なかなか気温と水温が上がらないので、みんなが楽しみにしているプールに入れません。残念ですが仕方ないですね。今週も少し雨模様の日が多くなりそうで、湿度が高く、体に疲れが溜まりやすくなります。校内で落ち着いて穏やかに過ごす時間を大切にして、体調管理に努めてください。

さて今日は、「お仕事の大切さ」についてお話しします。

校長先生は以前、台東区上野の近くにある小学校の先生でした。総合的な学習の時間に、上野動物園の飼育員さんのことを調べたいという子どもの希望があったので、お願いしてインタビューさせていただきました。子どもたちが動物のことや飼育の仕方をたくさんインタビューする中で、先生はふと疑問に思い、「飼育員さんが担当する動物は、どうやって決めるんですか？」と質問してみました。

先生の予想では、キリン専門の人がずっとキリンだけを担当する、という感じなのかなと思っていました。でも、答えは違いました。飼育員さんは、「毎年少しずつ、担当を代えています。だから、キリンの担当飼育員が、いきなりヘビなど爬虫類の担当になることもあります。飼育員の希望はそれほど通りません」と教えてくれました。先生は驚いて、「いきなり担当が変わって、大変ではないんですか？」と、追加の質問をしました。飼育員さんは、「その動物のことを一から勉強し直しますので、もちろん大変です。でも、どの動物もお世話のしがいがあるので、毎日楽しく仕事をしています」と答えてくれました。先生はそれを聞いて、プロフェッショナルとはこういう人たちのことを言うんだな、と強く思いました。

皆さんはこれから大きくなるにつれ、いろいろな仕事や役割を負うことになります。その後は、社会に出て一生懸命働くことになります。この世の中、楽な仕事はありません。時には、忙しくて大変な仕事や役割もすることになります。でも、覚えておいてください。大変な仕事をするときに、「いやだなあ」とか「やりたくないよ」と思いながらするのと、「意外と面白くて楽しいな」とか「大変だけど自分が成長できそうだな」と思いながらするのでは、その仕事の出来具合や、その人の成長の大きさに明らかな差ができるのです。

落五小の皆さんは、お仕事や役割を前向きに捉え、何事も、ふざけたりいい加減にしたりしないで取り組める人になって欲しいと思います。まずは、学校での毎日の当番活動や係活動、委員会活動からスタートです。どんなに小さなことでもコツコツと一生懸命頑張れることは、人としてのすばらしい長所です。

「何にでも前向きに頑張れる、ステキな自分」になってください。

今日は、「お仕事の大切さ」についてお話ししました。

【本講話について】

先日、新宿区の教育委員会の皆様にご来校いただき、自慢の子どもたちを参観いただきました。教育長先生を始め、「落五の子どもたち、すばらしいですね」というお褒めの言葉をいただくとともに、本校の先生方の授業への高評価をいただきました。今後も、皆が幸せになる落五小をつくっていきます。

ほぼひと月ぶりとなった校長講話で、本日は「お仕事の大切さ」を子どもたちに伝えました。人生の最初のキャリア教育は、幼児期からの当番や係の活動だと言われています。勤労の尊さや心地よさを体感しながら様々な職業について知ることが、自分の将来を考える姿勢へとつながっていきます。お家でもぜひ、ご家族の仕事の話をする機会を設けてみてください。子どもはとても喜びますよ。